

特集

「おかしいな」と思ったときの学生指導

看護師をめざす学生への「関わり」 池西静江

入学後から居眠りが多く卒業延期になった学生 江川万千代／「おかしいな」と思わなかった学生への指導とは?! 近藤麻理／耳がよく聴こえないことを言えなかった学生 高島尚美／新入生を支援する私たちの取り組み 田中郁江／おかしいと思うその行動・反応には意味がある

田丸早苗／学生自身が気持ちと思考を整理するのを助ける関わり 山田智子／実習中の抑制に関する学習から自己の体験がフラッシュバックした学生からの学び 山田百合子・大澤広美

【焦点】

看護学生・新人看護職員に向けたリスクアセスメントトレーニング 齊藤奈緒美／石川雅彦

【連載】

心一文字・4 園家文苑＋水戸優子

ナースよ、リアリストたれ! 中西睦子が語る看護と教育・4 松澤和正／中西睦子

ひろがる災害医療と看護 身につけるべき知識とスキル・7 井上潤一／川谷陽子

看護実践力を育む教育方法の開発 日本赤十字広島看護大学の試み・9 松本由恵ほか

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・16 片山紀子

Mail From USA —『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・60 喜吉紘子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●「リフレクションは単なる振り返りではない」という言葉をよく耳にします。確かに「ただの」ではないかもしれませんが、そこにこだわることで、最初の一步が踏み出せないでいるということはないでしょうか? 田村先生のお原稿にあるように、毎日授業を行う教員であれば、無意識のうちに振り返りを行っているでしょうし、当然それもリフレクションです。大事なものは、いかに効率よくかつ効果的に行うかです。●大山先生のお原稿にあるように、リフレクションのためのツールは多岐にわたって存在します。指導を受けなければできない、というような感覚から離れて、まずは身近なツールで取り組んではいかがでしょうか? 一人だけで行うものよりも、多人数で行うものに学校単位で取り組めば、「ただの」リフレクションだったとしても、他のメリットが多く得られると思います。…大野

●本号の特集テーマはリフレクションということで、例によって自分も身近なことでやってみました。リフレクションをする対象は食事(含サプリメント)で、目的はより元気になること。何を食べてどうなるか、心と身体の状態を観察します。意識して取り入れてみたのはグリーンスムージー、アサイー、梅干し、亜麻仁油、ブドウ糖、クエン酸、グルタミン、そして水素水です。●さて結果ですが、何を食べてもこれといった変化はありませんでした。試したものがダメだったと単純に結論づけることもできます。しかし、効果が表われるまでに時間がかかる、複数の食物の効果が打ち消しあった、食事以外の要因が大きすぎた、などいくらかでも別の可能性があり得ます。●もやもやしたなか、一つだけはっきりしたのは、上記はどれも美味しいということ。リフレクションをした甲斐がありました。…加藤

看護教育 第55巻 第3号 2014年3月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

(1部)定価: 本体1,400円＋税 2014年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子版16,570円、冊子＋電子版／個人19,570円、冊子＋電子版／共有22,100円、電子版／個人16,570円、

電子版／共有19,100円(いずれも税込、送料弊社負担)

※上記は2014年3月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です(2014年3月ご購読開始分まで適用)。

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/14/ ¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,400 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.55 No.2

2014 年 2 月
特集

効果的な授業の工夫としての e ラーニング

情報通信技術(Information and Communication Technology: ICT)の発展に伴い、さまざまな教育分野で e ラーニングの活用が広がっています。しかし、看護基礎教育における実践となると、学校全体として力を入れて取り組んでいる一部の施設を除き、なかなか身近に感じるものの難しい教育手法ではないでしょうか。関心はあるものの、「効果が出るか不安」といった理由から、導入に踏み出せない方もいらっしゃるかもしれません。

本特集では、看護基礎教育の現場が抱える課題を解決するための一手段として、ICTを活用する可能性を考えます。日々の授業を効果的なものにするためにどんな工夫ができるのか、その過程で遭遇する問題点を e ラーニングはどう解決しうのか。

もし、皆さんが日々感じている課題に対しても有効だと判断されたとしたら、ぜひ実際に e ラーニングという手法を取り入れてみてください。

■e ラーニングは看護教育の抱える問題をどう解決するか 真嶋由貴恵

■CanGo プロジェクトの展開——看護教育課題の解決に向けた開発からタブレット PC を用いた現在の運用まで 真嶋由貴恵／中村裕美子

■対面講義を充実させるための e ラーニング 佐藤亜紀／松岡智恵子

■自学自習を促進するための e ラーニング 吉川千鶴子

■看護専門学校における e ラーニングの導入例 溝道裕子

■「e スクール」10 年の実績にみる社会人教育の可能性——早稲田大学による通信教育課程のねらいと成果 西村昭治

■ゼロからの e ラーニング導入——映像制作
方法と YouTube の活用方法 金子大輔／
SNS やソーシャルメディアの教育利用
村上正行



Vol.55 No.1

2014 年 1 月
特集

授業研究のすすめ

看護教員の仕事の第一は「教育」ですが、「研究」もないがしろにはできません。ただ、研究を専門に行う立場ならいざしらず、教育をしながら研究に取り組むのは容易なことではありません。量的研究にしても質的研究にしても、その遂行のためには膨大な時間やエネルギーが必要です。しかも、その研究成果を日々の教育に活かすのも簡単ではありません。そこで、まずは授業研究をおすすめしたいと思います。

授業研究は、実際に自分の教育自体を研究するのですから、題材がもっとも身近でかつ結果を即活かせるというメリットがあります。しかし実際には、それを「研究」と位置づけて何らかの形にまとめるという試みは少ないように感じます。さまざまな形で取り組まれている授業研究を、自らの授業充実にだけ結び付けず、「研究」の一環としてまとめたうえで、広く共有されるものとして発表するという姿勢をもってみてはいかがでしょうか。そうすれば、個々の成果が共有財産となり、授業の底上げがより一層進むのではないかと思います。ぜひとも、「研究」の視点を明確に、授業研究に取り組んでいただきたいと願っています。

■看護教育の初めの一步は自分の授業研究から 川口孝泰

■授業研究の基礎のキノ 吉崎静夫

■授業研究が教員にもたらすもの 新保幸洋

■東京都立看護専門学校における「授業研究」研修の実践 中山富子

■「座談会」授業から教員が学ぶことを研究の一端に 齊藤茂子・田中郁江・小池邦美・國田菜穂



[2013 年 12 月号 (Vol.54 No.12)]

移動介助技術の指導方法
ボディメカニクスを実践に活かす

[2013 年 9 月号 (Vol.54 No.9)]

2014 年の国試に向けて
できること

[2013 年 11 月号 (Vol.54 No.11)]

助産師教育の現状と課題

[2013 年 8 月号 (Vol.54 No.8)]

教育の質を高める学習方法
いまから始める協同学習

[2013 年 10 月号 (Vol.54 No.10)]

対話のスキルを
教育に活かす！

[2013 年 7 月号 (Vol.54 No.7)]

スマホ時代のリスク管理——
情報リテラシーを育みトラブルを防ぐ

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2012 年 1 月号 (Vol. 53, No. 1) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2012 年 2 月号 (Vol. 53, No. 2) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。